

チームオレンジ ~ このまちで自分らしく生きていく ~



1. 基本情報(令和7年1月現在)

市・町名	島原市		
人口	高齢者人口	高齢者率	面積
41,974	15,570 人	37.10%	82.96km ²

2. チームの概要

チーム名	チームオレンジ魚見第一団地ふれあいサロン		
開始時期	2025年 1月～		
実施主体	☐ 市町 ☐ 地域包括支援センター ☐ 住民・ボランティア ☒ 社会福祉協議会 ☒ その他		
チームオレンジ コーディネーターの属性	認知症地域支援推進員(島原市地域包括支援センター)		
メンバー構成	認知症サポーター、認知症当事者、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター		
活動頻度	毎月第1月曜日 午前9:30～12:00		
チームオレンジの類型	☐ 第1類型 共生志向の標準タイプ ☒ 第2類型 既存拠点活用タイプ ☐ 第3類型 拠点を設置しない個別支援型タイプ ☐ その他		
チームオレンジ三つの基本について	☒ 3つの基本を満たしている ☐ 3つの基本は満たしていないものの仕組みが構築されている。		
運営財源	☐ 市町からの委託 ☐ 市町からの補助 ☐ 会費・参加費 ☒ その他 (会費なし) 上記の財源 ☐ 市町一般財源 ☐ 地域支援事業交付金 ☐ その他 ()		

3. チームオレンジの設置に至ったプロセス

魚見サロン自体は H21年 4月から実施している。地域でできることは地域で支えあう地域の特性を生かし住み慣れた地域で、なじみのある顔合わせホッとする居場所として毎月のサロンが閉じこもりの解消となり介護予防、認知症予防の取り組みを行っている
活動の開始に向けて、認知症サポーター養成講座終了後ステップアップ講座(オレンジチューター活用)を受講し(2024年11月)今後もお互いに支え合うために地域の関係性を今後も続けるためにチームオレンジとして活動を開始する
・ステップアップ講座で学んだことを活かし、認知症当事者、家族、支援者に対し誰もがお互いに声を掛け合って参加ができるような体制としている

4. 活動内容

開所する前に、楽しく有意義な時間を過ごすための取決め事項を設けております。
まず、一つ目は、無理をしないこと。二つ目は、時間は手短に。ボランティアの中には、家でご主人が待ってらっしゃる方もおり、お昼ご飯を作る11時30分には終了するようにしている。
三つ目は、飽きないように内容を濃くする。
四つ目は、毎月第一月曜日に開催すること。五つ目は、明るく、楽しく、和気あいあいと。六つ目は、送迎は行いません。という6つの事項を設けている。魚見第一団地ふれあいサロンでは、ぺちゃくちゃ談議以外の年間の行事予定を立てていなく、サロンの中で、ボランティアや参加者それぞれの得意分野があるため、自然とサロンの中での役割分担ができており、次回何をするのかということも雑談をしているうちに決まっていき、あうんの呼吸で賛同する仲間、ボランティアの方々と活動することができている

5. 活動を進めて行く上で工夫したこと・配慮したこと

- (1)認知症サポーターやステップアップ講座受講への働きかけ
すでに、認知症サポーター養成講座は受講されており、県すこやか財団 オレンジチューター、チームオレンジ勉強会の機会をサロンメンバーへ声かけし、受講してもらった
- (2)介護予防や認知症に関する講座を外部の講師に依頼し定期的に受講することで知識を深めている

6. ステップアップ講座の開催状況・講座内容について

R6.11月に県すこやか財団 オレンジチューター、チームオレンジ勉強会及びステップアップ講座を島原市と島原地域広域市町村圏組合介護保険課が開催し、サロンのメンバーが受講され知識を深められた

7. 活動してきたことで得られた効果・見えてきた課題

- <効果>
 - ・世代の離れた方との交流は、今まで知りえなかった生活の知恵などを教えてもらうことが多く参加者同士の楽しみの一つとなっている
 - ・地域の皆さんのため自分たちの楽しみでもありストレス解消、参加者や支援者の介護予防に関連している
 - ・サロンを継続し活動することで、支援する側、支援される側という概念を超えて参加者みな「仲間」という意識を持てるようになった
 - ・趣味活動のみならず、認知症の話聞くことで、わが事に意識したり、介護を振り返るきっかけとなり、頭の整理をすることができるようになった
- <課題>
 - ・サロンの効果を周知し地域で支え合える仲間を増やす

8. チームのアピールポイント

- ・おしゃべり(ぺちゃくちゃ談義)
- ・季節折々の内容を取り入れたお菓子や小物作り
- ・脳の活性化につなげるために認知症予防講座を定期的に受講し理解を深める
- ・魚見第一団地ふれあいサロンから笑いの虹を放ちます

9. 今後の活動について

なかなか皆さんの希望通りにはいかないかもしれませんが笑顔で帰っていかれるのを励みに、季節折々の内容を取り入れながらサロンで楽しくお茶を飲んだり、おしゃべりをしたり作業療法の物作りやお菓子作りを取り入れ楽しく活動を続けていく